

令和5年7月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年7月分について、輸出額は「電気回路等の機器」などが増加したものの、「映像機器」、「有機化合物」などが減少したことから、対前年同月比7.9%の減少となった。また、輸入額は「石油製品」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同28.7%の減少となった。
その結果、差引額は694億円（同44.7%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	887億円	▲7.9%	1,580億円	▲28.7%	▲694億円	▲44.7%
	9カ月連続の減少		4カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 電気回路等の機器	87億円	+26.9%	輸入	増加品目	(1) 石油製品	95億円	+6.1%
		(2) 繊維機械	14億円	+440.1%			(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	16億円	+44.6%
		(3) 建設用・鉱山用機械	24億円	+85.0%			(3) 非鉄金属鉱	23億円	+25.2%
	減少品目	(1) 映像機器	7億円	▲90.0%		減少品目	(1) 原油及び粗油	881億円	▲29.8%
		(2) 有機化合物	54億円	▲35.2%			(2) 液化天然ガス	219億円	▲44.5%
		(3) 鉱物性タール及び粗製薬品	18億円	▲51.9%			(3) 石炭	49億円	▲49.7%
地域別動向	アジア、アフリカが減少、西欧は増加				地域別動向	中東、大洋州が減少、アジアは増加			

(参考) ドルレートは、142.32円（前年同月比4.6%、6.27円の円安）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注) 本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。